

IIN

40 年記念行事報告

2024.11.14～19

姉妹都市活動室(IIN)は2020年に設立から40年をむかえました。コロナ禍にあったため、2年遅れとなりましたが、2024年11月14日から19日まで、ミネアポリス・茨木市姉妹都市協会(MISCA)のメンバー9名をミネアポリス市市民訪問団としてお迎えし、IIN40年記念行事を行いました。

コロナ禍にあってはオンラインでミネアポリスの皆さんと交流を続けていたことが、今回の円滑な対面交流に繋がったと思います。IINのメンバーは、周到に、時には短期集中で各催しの準備を行いました。以下に主な4つの記念行事での交流の様子をご紹介します。

●14日(木)ローズワムにて例会

グループトークでは話し上手、聞き上手の皆さんのおかげで、初めて来茨された訪問団の方とも話が弾み、すぐに緊張もほぐれました。

お煎茶お点前を楽しんだ後は、茨木郷土かるた大会。MISCAの皆さんは茨木をよくご存知で、驚くほどの早さで札を取っていかれました。



16日の淡路バスツアーを前に、淡路島紹介のプレゼンと人形浄瑠璃のIINバージョン寸劇を楽しんでいただき、最後は和菓子職人の指導の下、茨木の市花であるバラを練り切りで作りました。



次々と目まぐるしく展開する初日の催しを、MISCA の皆さんは長旅の疲れも見せず楽しんで下さいました。



●16日(土)淡路島バスツアー



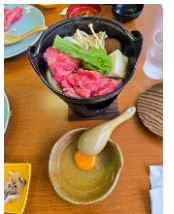
「金門橋より長い」と初日のプレゼンで自慢した明石海峡大橋を渡し、お香の郷、淡路島へ。



それぞれ好みの香りを選んでオリジナルお香作りを楽しみ……



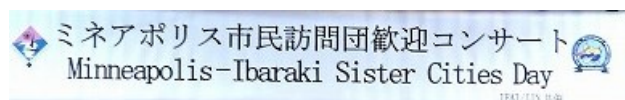
御食国淡路の昼食。



そして淡路人形座浄瑠璃観劇です。難しい演目の浄瑠璃でしたが、初日のIIN 寸劇のおかげでよく理解できた、とか？人形座が誇る遠近法を生かした背景紹介に、高校で舞台作りを教えておられる MISCA 会長のカールさんは大変、興味を持たれていました。



●18日(月)ミネアポリス市民訪問団歓迎コンサート



きたしんホールにてピアノ、フルート、ファゴットのアンサンブルの美しい調べを楽しみました。国際親善都市協会会員、市広報誌により市民の皆様へのお声がけをしたところ来場者総数は140人。最後は会場内外の皆様とドレミの歌、エーデルワイス姉妹都市バージョンを大合唱しました。



午後は総持寺まで散策。帰路には、両市の架け橋のような大きな虹がでていました！



●19日(火)IIN 40年記念祝賀会～ミネアポリスの皆さんとともに～

ミネアポリス市民訪問団との交流最終日です。国際親善都市協会交流員、事務局の皆さん、IIN 創立当初より長く姉妹都市活動室を支えて下さった方々にもご参加いただき、和やかな時間を過ごす事ができました。





最後はやはり皆さんで大合唱。「蛍の光」のピアノ演奏に急かされつつも、別れがたくてなかなか去れませんでした。



IINの理念people to people の「絆」に大いに感謝するとともに、今後の交流を語る希望の場となりました。これからも、茨木市国際親善都市協会、姉妹都市活動室、ミネアポリス市、そしてMISCAとの素晴らしい交流がより一層活発に続いて行くことを心より願います。

この4つの記念行事には、延べ373名の皆さまにご参加いただきました。この数字を、記録としてだけでなく、心に刻む大切な思い出として留めておきたいと思います。